

參 考 資 料 ②

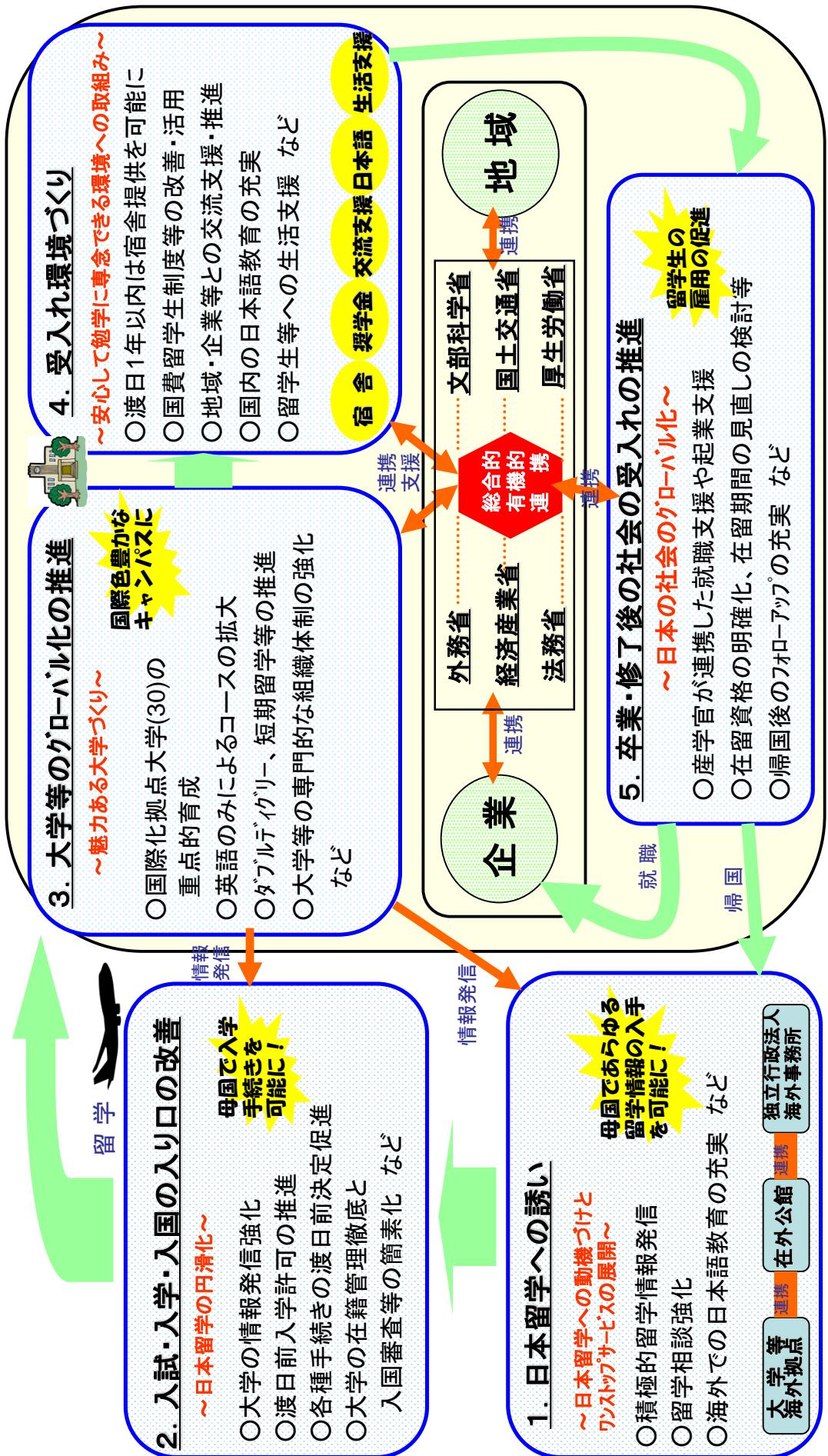
参 考 資 料 ② 目 次

・「留学生30面人計画」骨子の概要	1
・世界の成長を取り込むための外国人留学生の受入れ戦略（概要）	2
・学校種別・外国人留学生在籍者推移	3
・重点地域別留学生数推移（各年5月1日現在）	4
・出身地域別・留学期間別 外国人留学生数	5
・各国における海外留学の状況	6
・ブロック別留学生受入れ大学数	7
・外国人留学生の日本留学の理由	8
・主な国の授業料・滞在費の目安（4年生大学・学部）	9
・外国語教育の実施状況	10
・スーパークリーバル大学事業における英語のみで卒業できるコースの設置数	12
・外国人留学生の就職の現状	13
・外国人留学生の就職に関する課題	14
・各地域の帰国留学生会数及び会員数	15

「留学生30万人計画」骨子の概要

- ☆ 「グローバル戦略」展開の一環として**2020年**を目指す。
- ☆ 大学等の教育研究の国際競争力を高め、優れた留学生を戦略的に獲得。
- ☆ 関係省庁・機関等が総合的・有機的に連携して計画を推進

ポイント



世界の成長を取り込むための外国人留学生の受け入れ戦略（概要）

基本的な考え方

- 世界的な留学生獲得競争が激化する中、教育研究の向上や国家間の友好関係の強化に継続して取り組むことに加え、**諸外国の成長を我が国に取り込み、我が国の更なる発展を図るため、重点地域の設定等の外国人留学生受け入れに係る戦略を策定することが必要。**
- そのため、これまでの諸外国・地域の人材育成やパートナーシップ構築等の継続的な取組に加え、我が国の大手等への留学を奨励・促進させるために、重点を置くべき分野や地域及び具体的な**対応方針を本戦略において策定。**
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、スポーツや文化等、我が国魅力の積極的な海外発信に果たす外国人留学生の役割も重要。

戦略の在り方

外国人留学生受入れ施策の成果が十分に期待できる重点分野

電気、資源、エネルギー、建築等の開発分野から防災、環境保全まで幅広く貢献できる 基礎的な分野。多岐にわたり諸外国との関係分野に寄与。		医療	農学
民法、商法等社会基礎を形成する実学的分野を中心に、諸外国の法整備等に寄与する ことにより、現地のみならず我が国企業の現地進出等に有益。			

我が国の発展に特に寄与すると考えられる重点地域及び今後の対応方針

重点地域

対応方針

東南アジア (ASEAN)	・ASEANは我が国との人との交流が最も活発な地域であるとともに、将来的にも、日系企業の進出も盛んになる地域であることから、各国の状況を考慮しつつ、教育の質を確保する仕組みを構築し、量的な拡大を図る。
ロシア及びCIS諸国	・我が国への留学の魅力や我が国の大手等の優れた点について集中的に広報し、留学生の受入れを促進する。
アフリカ	・アフリカは、サブサハラを中心とした極東地域である。今後、アフリカからの留学生を増やすに当たっては、アフリカ各との関係で得られる成果を念頭に置きつつ、良好事例を創出し、我が国の大手等に情報を周知することで、留学生の受入れを促進する。
中東	・我が国への留学の魅力や我が国の大手等の優れた点について集中的に広報し、留学生の受入れを促進する。
南西アジア	・中東各国が用意する政府派遣奨学金を利用できるよう必要な環境整備を図る。
東アジア	・企業の進出拠点が多く形成されるインドを中心として、在外公館や我が国との関係機関と連携し、我が国への留学の魅力や我が国の大手等の優れた点について集中的に広報し、留学生の受入れを促進する。
南米	・東アジアの中でも、我が国との関係が強く親日国であり、資源確保の観点からも関係を強化することが重要なモジゴルを中心として、留学生の受入れを促進する。
米国	・南米は、我が国の高い技術に対する関心が高く、我が国にとっても、資源の確保と質の高い人材の受入れが重要であることから、主に工学及び農学分野の留学生の受入れを促進する。
中東欧	・学事暦の柔軟化や大学間交流協定の締結促進により、短期の留学生の受入れを中心に、受入数を増加させる。
	・政府間の声明を踏まえた人的交流の強化を図る。

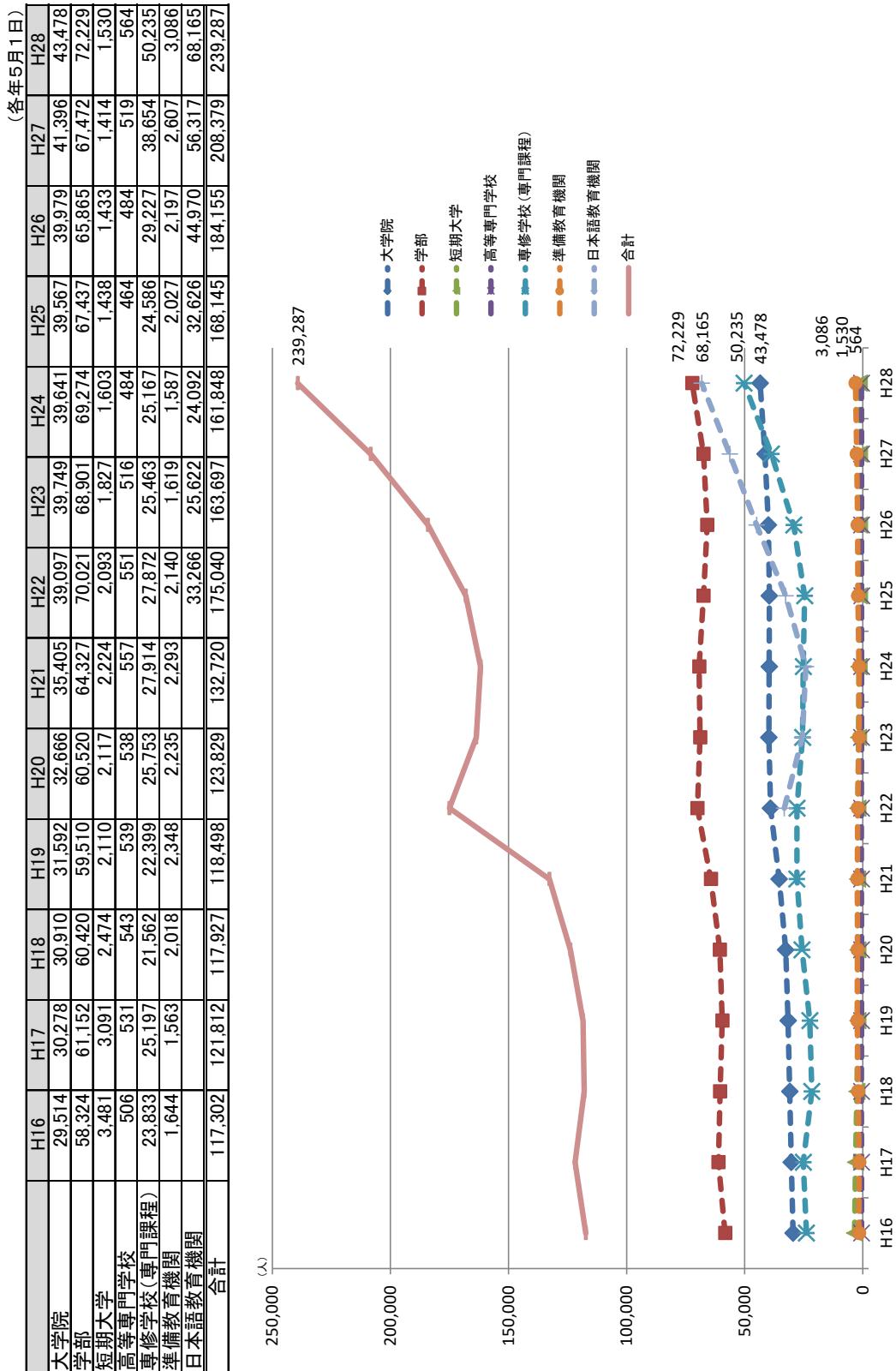
具体的の方策

○ 留学コーディネーターの配置などによる戦略的な外国人留学生の受け入れ	○ 奨学金の充実と運用改善(戦略枠の設定等)
○ 外国語で単位や学位が取得できる環境の整備促進	○ 地域と連携した外国人留学生の生活支援

「留学生30万人計画」の実現を図るために、従来のODA的な考え方から脱却し、
我が国の更なる発展を目的とした戦略による「攻め」の留学生受け入れに取り組む。
世界の成長を取り込むための外国人留学生の受け入れ戦略(報告書) http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1342726.htm



学校種別・外国人留学生在籍者数推移



重点地域別留学生数推移(各年5月1日現在)

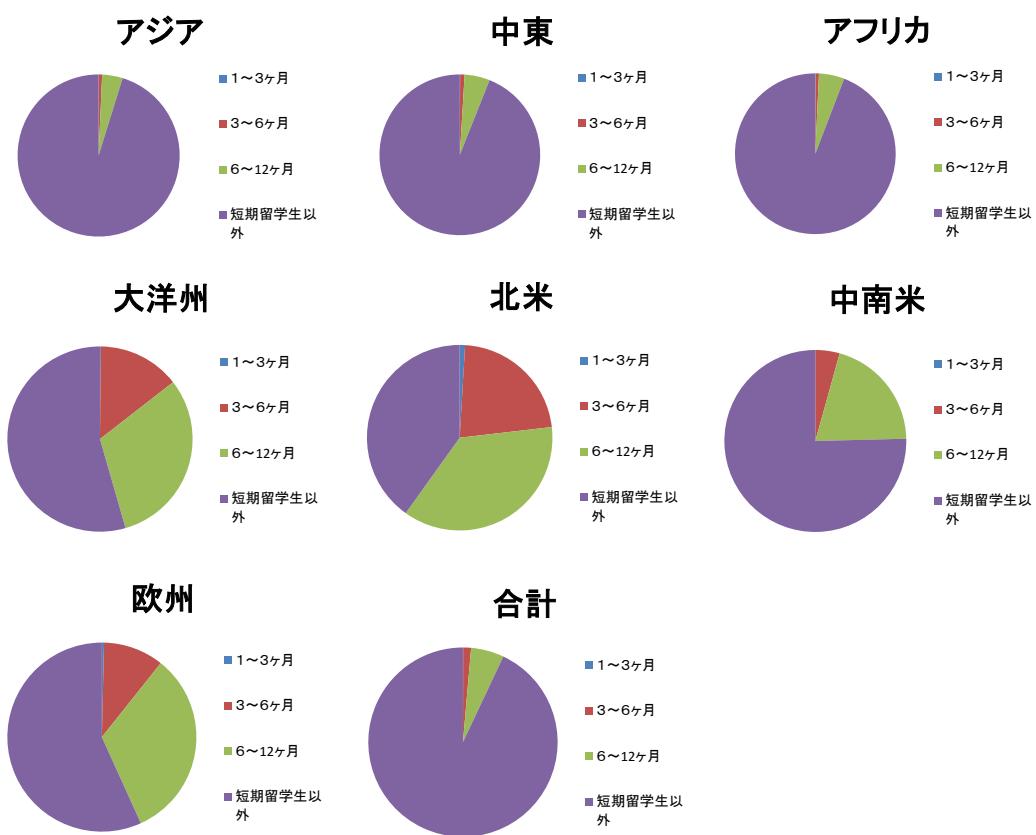
国地域		H24	H25	H26	H27	H28
ASEAN	ミャンマー	1,151	1,193	1,280	1,652	2,079
	タイ	2,167	2,383	2,676	2,904	3,185
	マレーシア	2,319	2,293	2,361	2,460	2,581
	シンガポール	211	209	260	282	330
	インドネシア	2,276	2,410	2,705	2,995	3,670
	フィリピン	497	507	546	647	779
	ベトナム	4,373	6,290	11,174	20,131	28,579
	カンボジア	311	338	368	426	467
	ラオス	223	218	207	207	215
	ブルネイ	17	20	26	35	58
ASEAN 計		13,545	15,861	21,603	31,739	41,943
ロシア・CIS	ロシア	333	339	404	451	505
	ウズベキスタン	203	227	274	335	383
	カザフスタン	58	65	85	87	107
	ベラルーシ	24	33	26	29	28
	キルギス	75	72	76	85	92
	アゼルバイジャン	22	17	21	15	18
	タジキスタン	27	34	34	42	39
	トルクmenistan	19	17	13	15	14
	アルメニア	5	8	11	13	13
	モルドバ	8	6	8	7	9
ロシア・CIS 計		774	818	952	1,079	1,208
アフリカ	エジプト	213	229	258	280	332
	スードーン	40	36	31	35	44
	リビア	11	12	13	13	11
	チュニジア	53	54	52	50	53
	アルジェリア	19	25	27	29	32
	マダガスカル	21	23	22	22	28
	ケニア	104	99	89	154	211
	タンザニア	48	43	48	84	111
	コンゴ民主共和国	19	17	22	20	16
	ナイジェリア	57	68	71	85	117
	ガーナ	45	52	54	71	102
	リベリア	4	3	7	4	3
	ガボン	6	7	6	7	12
	コンゴ共和国	3	4	1	2	7
	カメルーン	27	36	40	29	29
	ザンビア	20	18	18	21	25
	コートジボワール	12	9	13	19	27
	モロッコ	37	42	46	50	57
	セネガル	40	49	58	47	67
	エチオピア	50	53	52	75	100
	ギニア	10	9	11	20	15
	ウガンダ	71	72	70	75	65
	ジンバブエ	33	26	27	24	34
	南アフリカ	18	18	16	33	66
	モーリタニア	7	8	4	3	7
	トーゴ	1	3	2	1	1
	中央アフリカ	1	1	1	0	0
	ベナン	13	17	17	21	23
	マラウイ	20	19	20	19	34
	スワジランド	1	1	2	2	3
	エリトリア	12	10	10	8	7
	コモロ	1	1	1	1	0
	ナミビア	2	2	3	8	11
	ボツワナ	20	21	21	21	23
	マリ	9	12	8	7	8
	ニジェール	1	1	0	0	0
	モーリシャス	5	3	4	5	8
	レソト	0	0	2	1	2
	アンゴラ	5	4	3	5	7
	ガーボヴェルデ	0	1	4	4	6
	サンタ・クリンシペ	0	0	0	1	0
	赤道ギニア	1	0	0	0	1
	ブルキナファソ	2	3	8	6	15
	セーシェル	0	0	0	0	1
	ソマリア	2	2	2	2	1
	モザンビーク	14	13	16	39	76
	ルワンダ	14	17	16	33	44
	エラレオネ	10	10	7	6	8
	ブルンジ	0	1	1	2	3
	ジブチ	1	1	2	1	1
	チャド	2	0	0	0	0
	その他(アフリカ地域)	1	0	3	2	3
アフリカ 計		1,106	1,155	1,209	1,447	1,857

国地域		H24	H25	H26	H27	H28	(人)
中東	イラン	213	208	180	189	198	
	トルコ	155	156	160	180	223	
	シリア	50	53	51	52	52	
	レバノン	11	13	11	16	18	
	イスラエル	27	29	30	36	39	
	ヨルダン	28	27	25	25	27	
	イラク	16	11	14	15	17	
	クウェート	5	6	4	4	9	
	サウジアラビア	413	472	562	551	510	
	アフガニスタン	102	155	213	307	339	
パレスチナ		14	17	15	14	24	
イエメン		11	18	20	20	25	
アラブ首長国連邦		44	42	44	63	66	
バーレーン		7	8	10	9	7	
オマーン		13	14	18	23	15	
カタール		3	4	9	16	18	
中東 計		1,112	1,233	1,366	1,520	1,587	
南西アジア	パキスタン	166	184	185	198	201	
	インド	541	560	622	773	880	
	ネパール	2,451	3,188	5,291	8,691	13,456	
	バングラデシュ	1,052	875	825	1,015	1,402	
	スリランカ	670	794	902	1,200	1,905	
ブータン		22	17	20	23	25	
モルディブ		5	2	6	5	6	
南西アジア 計		4,907	5,620	7,851	11,905	17,875	
東アジア	モンゴル	1,114	1,138	1,222	1,350	1,495	
	東アジア 計	1,114	1,138	1,222	1,350	1,495	
南米	ブラジル	272	275	437	481	463	
	パラグアイ	28	26	19	24	26	
	ウルグアイ	6	3	6	3	2	
	アルゼンチン	53	48	56	61	63	
	チリ	34	37	36	38	45	
	ボリビア	26	22	28	26	26	
	ペルー	78	86	93	96	98	
	エクアドル	15	22	16	18	19	
	コロンビア	64	60	57	66	81	
	ペネズエラ	42	42	43	41	43	
ガイアナ		4	3	2	2	2	
南米 計		622	624	794	856	868	
米国	アメリカ合衆国	2,133	2,083	1,975	2,223	2,428	
	米国	2,133	2,083	1,975	2,223	2,428	
中東欧	ギリシャ	22	28	32	42	30	
	オーストリア	58	57	61	71	93	
	スイス	65	79	89	77	93	
	ボーランド	103	113	147	177	185	
	チェコ	44	48	46	54	56	
	ハンガリー	86	78	85	102	100	
	ルーマニア	69	75	67	71	66	
	ブルガリア	73	78	78	98	88	
	アルバニア	12	9	5	7	10	
	スロバキア	26	35	31	33	32	
	ウクライナ	71	77	77	78	83	
	クロアチア	18	18	22	26	28	
	スロベニア	14	10	20	22	21	
	マケドニア	8	8	7	6	9	
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	9	11	9	12	8	
	セルビア	29	34	29	27	33	
	モンテネグロ	2	1	0	1	1	
コソボ		1	3	5	3	4	
キプロス		1	2	6	8	9	
中東欧 計		711	764	816	915	949	

(出典)独立行政法人日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」

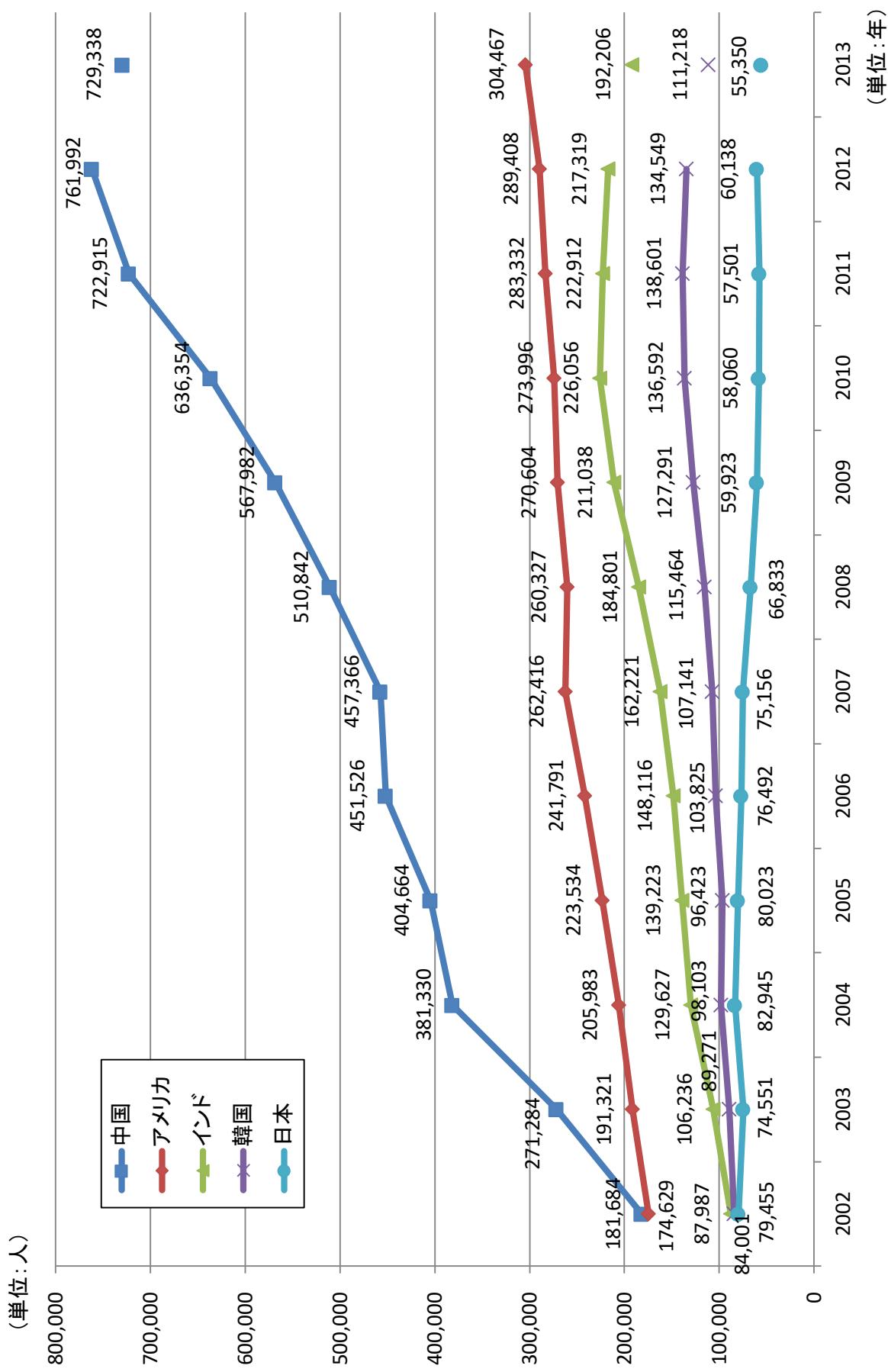
地域別・留学期間別留学生数(H28.5.1現在)

	1～3ヶ月	3～6ヶ月	6～12ヶ月	短期留学生以外	合計
アジア	44	1,513	9,118	211,952	222,627
中東	1	15	85	1,573	1,674
アフリカ	1	13	99	1,819	1,932
大洋州	1	95	206	361	663
北米	28	669	1,105	1,207	3,009
中南米	0	60	282	1,048	1,390
欧州	29	826	2,598	4,533	7,986
合計	104	3,191	13,493	222,499	239,287



(出典)日本学生支援機構「平成28年度外国人留学生在籍状況調査」

各国における海外留学の状況



ブロック別留学生受入れ大学数

平成28年5月1日現在

ブロック	留学生有 大学数	割合	留学生数	割合	留学生無 大学数
北海道	30	4.7%	2,704	2.3%	7
東北	36	5.7%	3,755	3.2%	14
関東(東京以外)	129	20.4%	22,843	19.7%	27
東京	120	19.0%	33,396	28.9%	14
中部	77	12.2%	9,482	8.2%	26
関西	117	18.5%	21,710	18.8%	32
中国	42	6.6%	5,973	5.2%	11
四国	14	2.2%	1,122	1.0%	2
九州	67	10.6%	14,708	12.7%	12
合計	632	100.0%	115,693	100.0%	145

(出典)日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」

外国人留学生の日本留学の理由

○留学の目的(複数回答設問)

区分	割合
学位を取得する	53.2%
就職に必要な技能や知識を身に付ける	47.3%
日本で働く、もしくは日本企業に就職する	44.3%
国際的な経験を積んで、国際的な人脈を作りたい	31.8%
国際的な考え方を身に付けたい	31.0%
教養を身に付ける	27.1%
日本語の能力を高めたい	21.8%
他文化に接する	17.3%
良い環境で研究を行う	9.6%
その他	0.8%

○日本を留学先として選んだ理由(複数回答設問)

区分	割合
日本社会に興味があり、日本で生活したかったため	59.5%
日本語・日本文化を勉強したかったため	47.3%
日本の大学等の教育、研究が魅力的と思ったため	35.8%
日本と関連のある職業に就きたかったため	25.0%
異文化に接したかったため	23.1%
興味ある専門分野があったため	22.1%
友人、知人、家族等に勧められたため	19.6%
地理的に近いため	19.6%
他の国も考えていたが、学力や費用等の条件が一番合ったため	15.0%
大学間交流等をきっかけとして	5.8%
奨学金を得られたため	4.3%
その他	1.4%

(出典)日本学生支援機構「平成27年度私費外国人留学生生活実態調査」

主な国の授業料・滞在費の目安(4年制大学・学部)

	米国 (公立4年制大学)	米国 (私立4年制大学)	中国	英国	豪州	(参考)日本
授業料 (一学年)	平均： \$ 24,930 (日本円 280万円)	平均： \$ 33,480 (日本円 376万円)	平均： 27,000元 (日本円 45万円)	平均： £ 9,000 (日本円 131万円)	平均： A\$24,000 (日本円 207万円)	平均： 871,000円
滞在費 (年間)	\$ 1,250 教科書、文房具代 部屋代、食費 交通費 雜費 計 (日本円: 168万円)	\$ 10,440 教科書、文房具代 部屋代、食費 交通費 雜費 計 (日本円: 178万円)	\$ 1,230 教材費 部屋代 食費 \$ 1,070 \$ 1,650 計 (日本円 22万円)	320元 8,030元 5,100元 £ 9,576 13,450元 (日本円 140万円)	部屋代、公共交通費、食費等 (留学生ビザの発給条件となる、 自ら支払い能力を証明すべき 生活費の額) A\$19,830 (日本円 171万円)	(その他学費) 修学費、課外活動費等 (生活費) 食費 住居・光熱水料費 娯楽・し好費 その他日常費 計 1,176,000円
総額	\$ 36,136 (日本円 434万円)	\$ 44,750 (日本円 538万円)	40,450元 (日本円 77万円)	£ 18,576 (日本円 343万円)	A\$42,610 (日本円 397万円)	2,047,000円
(参考) 為替レート	1 \$=112.21円	1 \$=112.21円	1元=16.519円	1 £=146.053円	1 A\$=86.177円	—

(出典)

米国： 日米教育委員会ホームページ(出典: Trends in College Pricing 2016, College Board) (1学年間(9ヶ月)の平均留学経費(2016-17))

中国： 中国教育部ホームページ

英国： [授業料]SFE A guide to financial support for new FT students in higher education 2012/13、「生活費」International Student Calculator (留学費用計算ツール)の事例より平均を算出

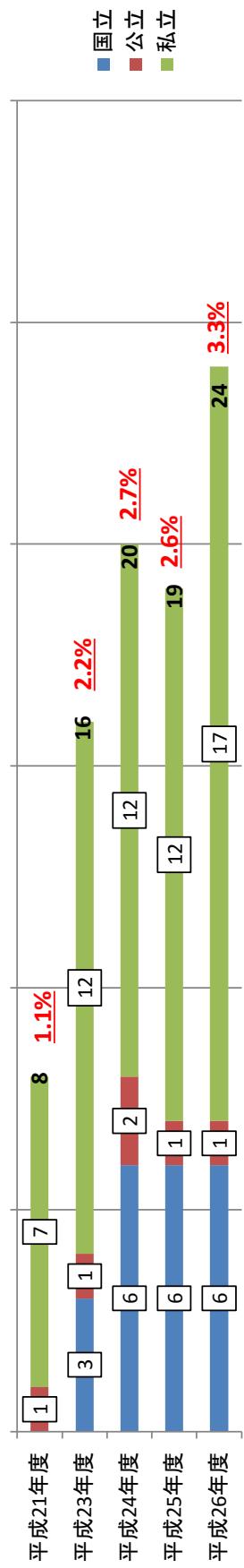
豪州： オーストラリア大使館ホームページ(授業料は教育費の学士号A\$15,000～A\$33,000の平均値より算出)

日本： 平成27年度 私費外国人留学生生活実態調査(独立行政法人日本学生支援機構)
為替レート： 平成29年7月1日Open値

外国语教育の実施状況①

「英語による授業」のみで卒業（修了）できる（学科等がある）学部（研究科）①

【学部段階】「英語による授業」のみで卒業できる大学数



【学部段階】「英語による授業」のみで卒業できる学部数



○【学部段階】「英語による授業」のみで卒業できる（学科等がある）学部（24大学48学部）

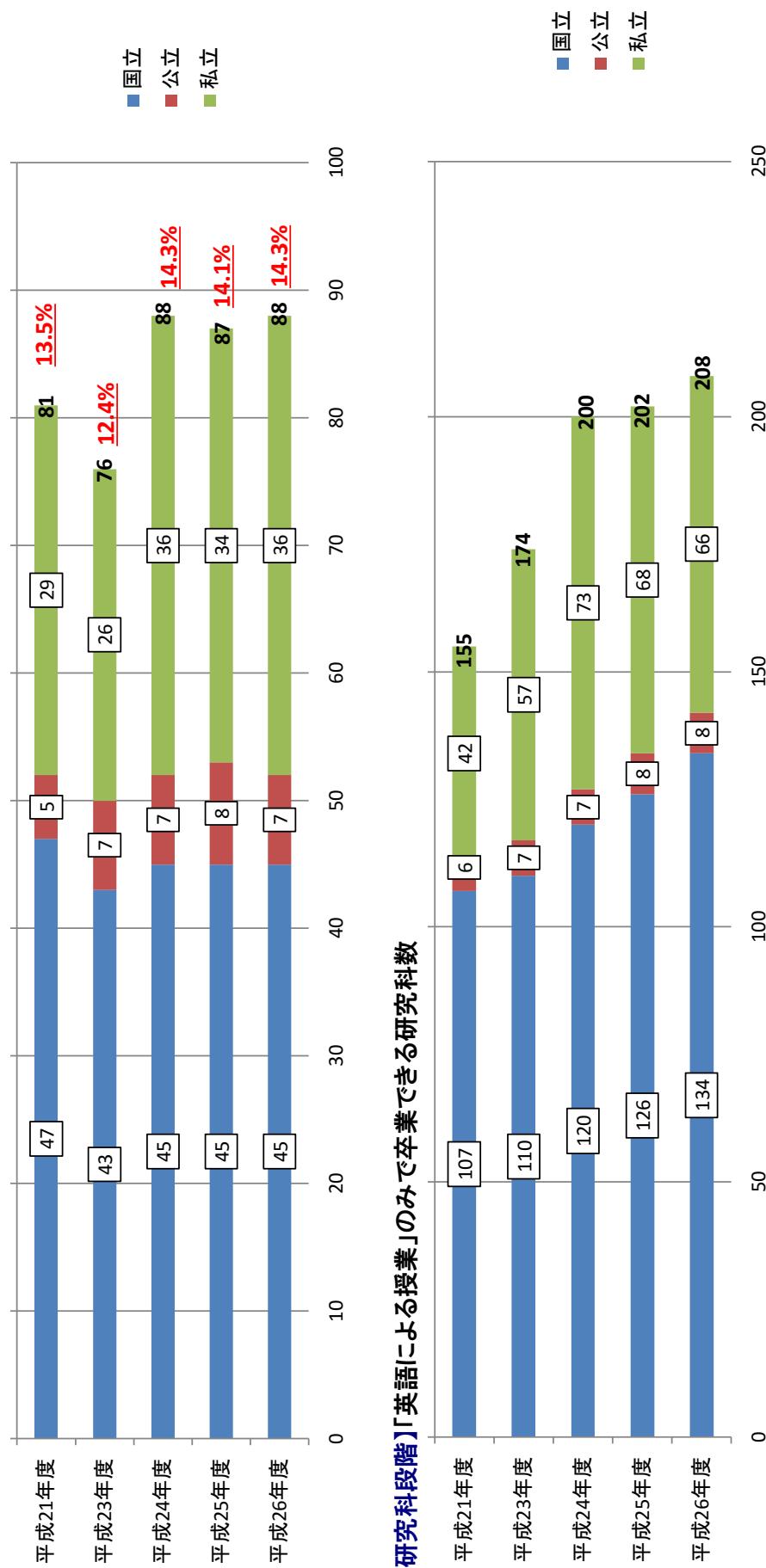
- ・東北大学 工学部、理学部、農学部
- ・京都大学 工学部、生命環境学群
- ・筑波大学 教養学部
- ・東京大学 文学部、法学部、経済学部、理学部、工学部、農学部
- ・名古屋大学 人間科学部、国際教養学部
- ・大阪府立大学 人間科学部、理学部、工学部、基礎工学部
- ・国際教養大学 国際教養学部
- ・東京基督教大学 神学部
- ・慶應義塾大学 総合政策学部、環境情報学部
- ・上智大学 国際教養学部、理工学部
- ・法政大学 グローバル教養学部
- ・明治学院大学 国際学部
- ・早稲田大学 國際教養学部
- ・創価大学 国際関係学部、政策科学部
- ・立命館大学 国際学部
- ・関西学院大学 国際学部
- ・立教大学 國際文化コミュニケーション学部
- ・拓殖大学 国際音楽学部
- ・昭和音楽大学 ミュージックオーディション学部
- ・名古屋商科大学 ビジネス学部、経営学部、経済学部、政策科学部
- ・立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部、国際経営学部
- ・東京国際大学 経済学部、国際関係学部
- ・城西国際大学 国際人文学部
- ・沖縄国際大学 総合文化学部

(出典) 文部科学省「平成26年度の大学における教育内容等の改革状況について」

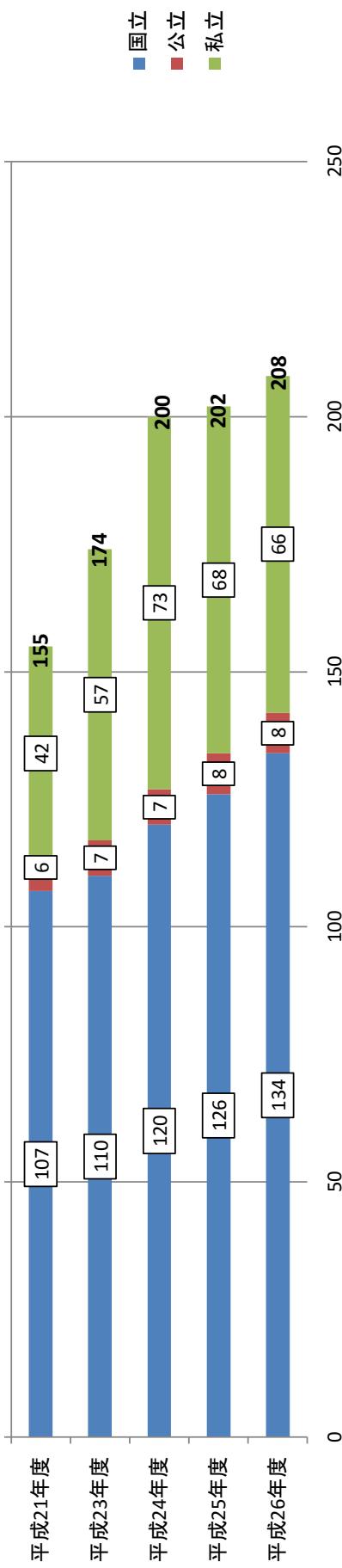
外国语教育の実施状況②

「英語による授業」のみで卒業（修了）できる（学科等がある）学部（研究科）②

【研究科段階】「英語による授業」のみで卒業できる大学数



【研究科段階】「英語による授業」のみで卒業できる研究科数



(出典) 文部科学省「大学における教育内容等の改革状況について」(平成22年度は震災の影響を考慮し、実施していない)

⑧外国語のみで卒業できるコースの数等

平成28年度(H28.5.1) 外国語のみで卒業できるコースの数)														
大学名	外国语のみで卒業できるコースの設置数(A)				外国语のみで卒業できるうち学部(B)				外国语のみで卒業できるうち大学院(C)					
	全学生数(D)	うち大学院(E)	うち学部(F)	うち大学院(G)	全学生数(D)	うち大学院(H)	うち学部(I)	うち大学院(J)	全学生数(D)	うち大学院(K)	うち学部(L)	割合(H/J)		
A01-北海道大学	41コース	41コース	41コース	96コース	323%	23.1%	427%	370人	18,171人	11,824人	6,347人	2.0%		
A02-東北大	26コース	3コース	23コース	127コース	31コース	58コース	13コース	476人	397人	18,556人	11,355人	7,204人	2.6%	
A03-筑波大	49コース	5コース	44コース	13コース	35コース	175コース	1コース	51.1%	413人	10,128人	7,370人	3,394人	1.6%	
A04-東京大	44コース	3コース	41コース	210コース	35コース	143%	23.9%	476人	413人	17,498人	11,355人	7,204人	2.6%	
A05-東洋大	59コース	0コース	53コース	120コース	318コース	10.0%	2.5%	167人	129人	865人	28,253人	14,159人	14,094人	
A06-東邦大	57コース	1コース	56コース	17コース	28コース	26.5%	0%	993人	0人	163人	3,226人	1,726人	5.1%	
A07-各古大	41コース	11コース	33コース	76コース	17コース	56.9%	9.6%	4,729人	14人	4,715人	10,063人	4,833人	5,230人	
A08-京都大	32コース	1コース	31コース	35コース	178コース	20.7%	31.4%	18.5%	619人	198人	451人	16,226人	10,051人	6,175人
A09-東京都市大	17コース	2コース	15コース	84コース	13コース	45.7%	43.7%	514人	81人	433人	13,811人	9,675人	2,229人	
A10-法政大	57コース	0コース	57コース	204コース	90コース	5.8%	2.2%	7.4%	338人	104人	234人	24,476人	16,016人	8,460人
A11-九州大	64コース	5コース	59コース	130コース	53コース	43.8%	16.1%	74.0%	2,969人	0人	2,969人	15,617人	11,055人	4,562人
A12-慶應義塾大	12コース	1コース	11コース	120コース	31コース	32.7%	1.6%	35.8%	662人	83人	579人	18,973人	11,710人	3,556人
A13-早稻田大	52コース	19コース	33コース	154コース	71コース	10.0%	2.4%	13.9%	436人	98人	338人	32,240人	22,220人	5,020人
B01-東京外國語大	33コース	0コース	33コース	116コース	41コース	33.8%	26.8%	39.8%	1,500人	1,563人	52,604人	43,416人	9,188人	5,896人
B02-東京藝術大	2コース	0コース	2コース	116コース	41コース	28.4%	0.0%	44.0%	774人	0人	774人	19,411人	10,882人	3,789人
B03-東京藝術大	4コース	0コース	4コース	123コース	34コース	8.7%	0.0%	11.8%	19人	0人	19人	42,721人	14,163人	5,558人
B04-長崎師大	16コース	0コース	16コース	100コース	16コース	100.0%	0.0%	45.5%	30人	0人	30人	3,447人	2,058人	1,389人
B05-金澤大	37コース	6コース	31コース	49コース	47コース	38.5%	12.2%	66.0%	83人	0人	83人	17,735人	11,579人	3,156人
B06-奈良師大	2コース	0コース	2コース	5コース	4コース	40.0%	0.0%	50.0%	47人	0人	47人	8,055人	2,237人	2,433人
B07-都留大	22コース	0コース	22コース	53コース	44コース	41.5%	0.0%	50.0%	31人	0人	31人	40,774人	12,765人	2,978人
B08-新潟大	19コース	0コース	19コース	8コース	8コース	75.0%	0.0%	75.0%	634人	1,180人	634人	11,180人	5,374人	1,180人
B09-岡山大	7コース	0コース	19コース	80コース	15コース	23.8%	0.0%	29.2%	149人	0人	149人	13,432人	10,338人	3,049人
B10-熊本大	41コース	0コース	41コース	44コース	106コース	27.3%	0.0%	38.7%	206人	0人	206人	10,334人	8,143人	2,191人
B11-国際教大	3コース	1コース	2コース	1コース	3コース	75.0%	100.0%	66.7%	921人	0人	921人	37人	1,210人	1,061人
B12-会津大	2コース	0コース	2コース	6コース	1コース	66.7%	0.0%	100.0%	177人	0人	177人	1,216人	1,036人	180人
B13-桐蔭大	0コース	0コース	0コース	5コース	1コース	0.0%	0.0%	0.0%	0人	0人	0人	2,976人	2,813人	163人
B14-芝浦工業大	8コース	3コース	8コース	17コース	23コース	47.1%	0.0%	47.1%	965人	0人	965人	13,395人	7,387人	1,180人
B15-上智大	7コース	1コース	6コース	31コース	28コース	11.9%	9.7%	14.3%	1,386人	1,154人	232人	14,680人	13,189人	1,482人
B16-東洋大	7コース	0コース	7コース	62コース	62コース	6.4%	2.1%	9.7%	1,069人	877人	192人	30,777人	29,899人	2,976人
B17-法政大	3コース	1コース	2コース	100コース	61コース	3.0%	2.6%	3.3%	357人	0人	357人	30,364人	28,576人	1,788人
B18-明治大	6コース	1コース	5コース	67コース	56コース	2.5%	2.5%	2.5%	210人	61人	149人	33,221人	31,117人	2,404人
B19-立教大	5コース	1コース	4コース	61コース	28コース	8.2%	3.6%	12.1%	43人	14人	29人	21,025人	19,703人	1,322人
B20-経営大	6コース	2コース	4コース	35コース	25コース	17.1%	20.0%	16.0%	1,019人	931人	88人	7,915人	7,502人	413人
B21-国際大	16コース	0コース	16コース	91コース	16コース	100.0%	0.0%	100.0%	388人	0人	388人	368人	100,0%	100,0%
B22-立命館大	22コース	2コース	20コース	59コース	32コース	24.2%	6.3%	33.9%	537人	309人	228人	36,304人	33,555人	2,949人
B23-黒川大	6コース	1コース	5コース	11コース	44コース	10.9%	9.1%	11.4%	107人	44人	63人	25,079人	23,942人	1,137人
B24-明治大	6コース	2コース	4コース	4コース	4コース	100.0%	100.0%	100.0%	5,918人	5,755人	193人	5,755人	5,194人	1,137人
合計	784コース	72コース	72コース	3,491コース	1,016コース	2,475コース	22.5%	7.1%	28.8%	31,125人	12,826人	5,683人	4,326人	

外国人留学生の就職の現状

- ・ 外国人留学生の就職者数は近年増加しているが、留学生全体に占める割合は3割程度にとどまる。

○大学（学部・院）段階における外国人留学生の卒業・修了及び国内就職の推移



○大学（学部・院）を卒業・修了した外国人留学生の進路状況

平成27年度に大学（学部・院）を卒業・修了した者（23,799人）のうち、国内に就職した者は8,367人（約35%）。

(出典)「平成27年度外国人留学生進路状況・学位授与状況調査結果」
(平成29年4月(独)日本学生支援機構)

○外国人留学生の就職支援に関する政府の方向性

「日本再興戦略改訂2016」（平成28年6月2日）において、外国人留学生の日本国内での就職率を3割から5割へ向上させることを閣議決定。

○日本における就職を希望する外国人留学生の状況

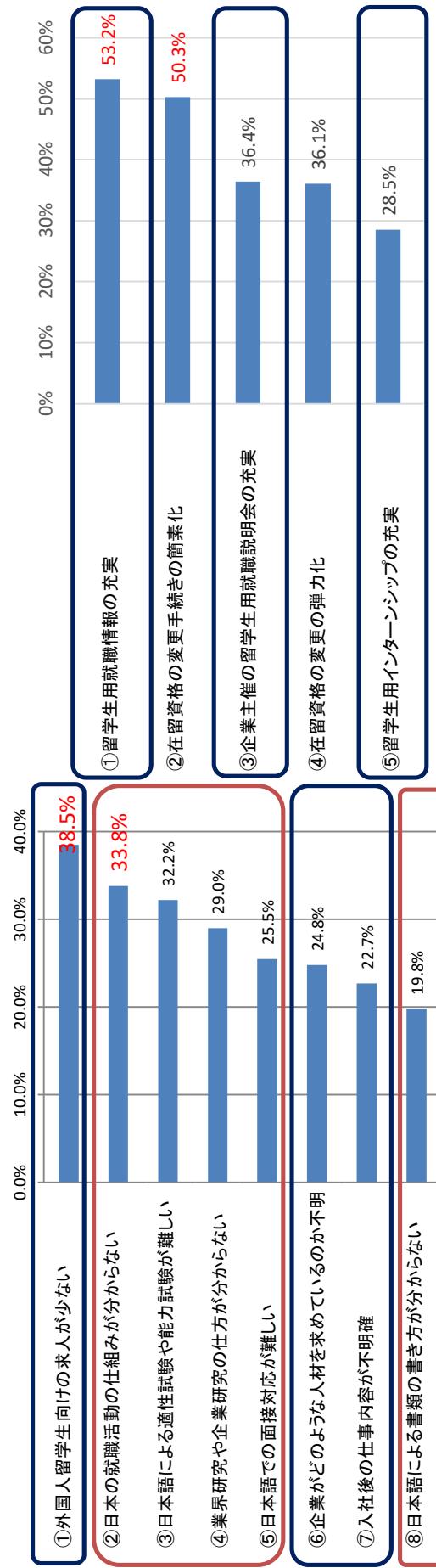
日本における就職を希望する外国人留学生は全体の約64%を占める。

(出典)「平成27年度私費外国人留学生生活実態調査」
(平成28年9月(独)日本学生支援機構)

外国人留学生の就職に関する課題

外国人留学生や高度外国人材へのアンケート調査（複数回答可）によると、就職活動上の課題として、
①日本式の就職方法指導や日本語の修得のための支援、②企業による留学生採用枠の拡大や採用枠の明示
③在留資格の変更手続きの簡素化等が挙げられている。

◆外国人留学生の就職及び定着状況に関する調査結果

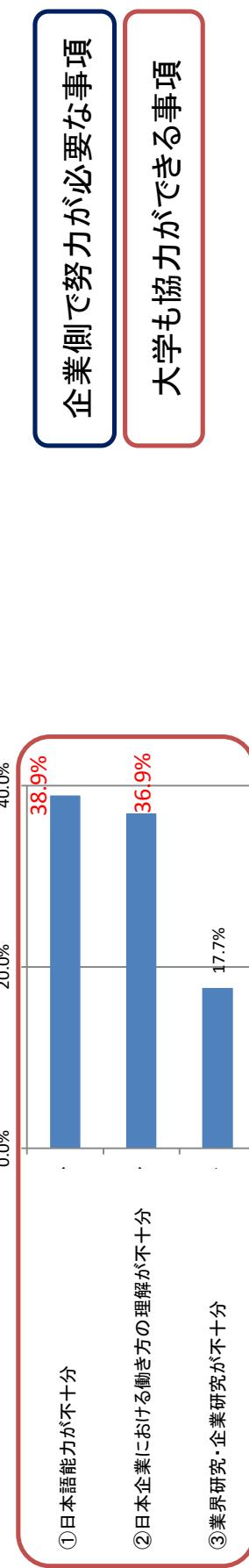


出典：「外国人留学生の就職及び定着状況に関する調査結果」
2015年3月新日本有限責任監査法人（経済産業省委託事業）

出典：「平成27年度私費外国人留学生生活実態調査」
2016年9月（独）日本学生支援機構

一方、企業から見て、外国人留学生が就職活動で改善してほしい点は以下の通り。

◆外国人留学生の就職及び定着状況に関する調査結果



出典：「外国人留学生の就職及び定着状況に関する調査結果」
2015年3月新日本有限責任監査法人（経済産業省委託事業）

企業側で努力が必要な事項

大学も協力ができる事項

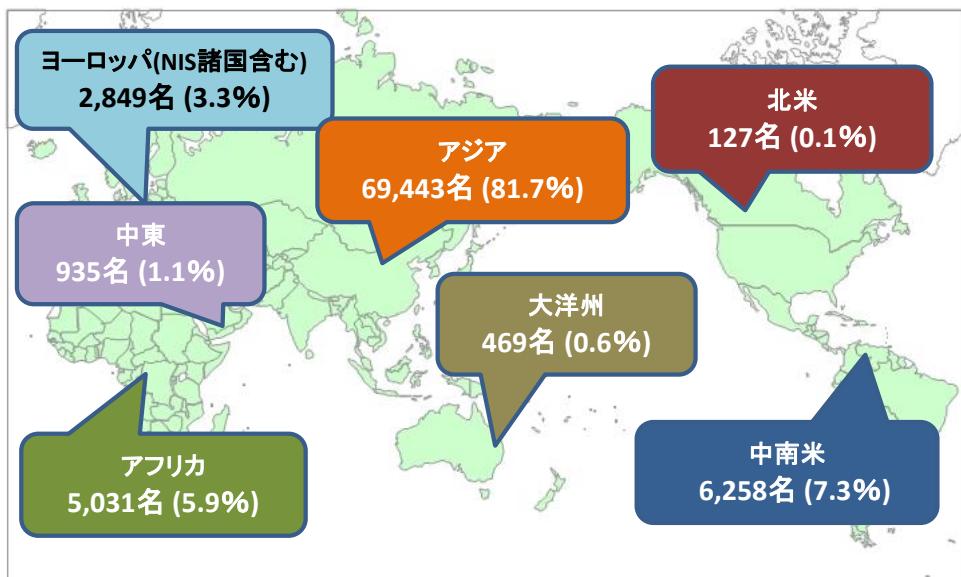
各地域の帰国留学生会数及び会員数

(JICA, AOTS同窓会等を除外した数)

総数 85,112名、101か国、243組織

平成28年8月現在

人物交流室



アジア 18か国・141組織	
国・地域名	会員数
フィリピン(9)	16,725
中国(46)	12,351
マレーシア(7)	9,250
韓国(29)	7,925
タイ(15)	7,675
インドネシア(17)	6,501
ベトナム(3)	2,023
ミャンマー(1)	1,731
モンゴル(2)	1,510
バングラデシュ(2)	900
インド(3)	889
カンボジア(2)	530
シンガポール(1)	430
ラオス(1)	350
ネパール(2)	289
スリランカ(1)	217
パキスタン(2)	107
ブルネイ(1)	40

アセアン合計 45,255
総数に占める割合 約53%

中南米 17か国・24組織

国・地域名	会員数
ブラジル(8)	3,153
エルサルバドル(1)	745
アルゼンチン(1)	670
メキシコ(1)	448
ペルー(1)	435
ホンジュラス(1)	172
コロンビア(1)	169
ハイチ(1)	94
ドミニカ(共)(1)	80
巴拉グアイ	80

アフリカ 23か国・25組織

国・地域名	会員数
ケニア(2)	2,977
ブルキナファソ(1)	900
マダガスカル(2)	362

北米 2か国・5組織

国・地域名	会員数
カナダ(4)	103
アメリカ(1)	24

中近東 7か国・8組織

国・地域名	会員数
イラン(2)	332
トルコ(1)	300
アフガニスタン(1)	200

大洋州 8か国・11組織

国・地域名	会員数
ニュージーランド(3)	162
フィジー(1)	74
オーストラリア(2)	54

※中南米、ヨーロッパは会員数上位10カ国、アフリカ、中近東、大洋州は上位3カ国のみ掲載。

参 考

高等教育機関における外国人留学生の受入 推進に関する有識者会議の設置について

平成28年7月21日
高等教育局長決定

1. 趣旨

文部科学省の行う留学生交流に係る外国人留学生の受入れ施策に関し、現下及び今後の社会情勢等を勘案しつつ、これまでの各種提言における取組とその成果について進捗状況を点検するとともに、外国人留学生受入れの意義を再認識し、現在の課題とその解決に向けた具体的な施策について改めて検討する。また、必要に応じて戦略的な留学生の受入れを推進するための意見交換を行う。

この検討に当たり、有識者で構成される会議（以下、「有識者会議」という。）を以下の要領にて開催する。

2. 検討事項

- ① 外国人留学生受入れの意義の再確認
- ② 設置主体等、各大学群の目指すべき方向性に即した外国人留学生の受入れ戦略
- ③ 外国人留学生の受入れの現状及び上記受入戦略を踏まえた分析
- ④ 国費外国人留学生制度（大使館推薦、大学推薦等）をはじめとした、奨学金プログラムの在り方
- ⑤ その他留学生戦略に関すること

3. 構成及び運営

- ① 有識者会議は別に定める有識者等の協力を得て、「2. 検討事項」について検討する。
- ② 有識者会議に主査を置き、有識者会議に属する委員の互選により選任する。
- ③ 有識者会議の運営に関する事項及びその他必要な事項は、有識者会議において定める。

4. 設置期間

平成28年7月21日から平成29年3月31日までとする。

5. 庶務

会議に関する庶務は、高等教育局学生・留学生課において処理する。

高等教育機関における外国人留学生の
受入推進に関する有識者会議 委員名簿

(◎：主査)

(敬称略・五十音順)

緒方 一夫 九州大学 副学長

岡本 毅 東京ガス株式会社 会長

北岡 伸一 独立行政法人国際協力機構 理事長

◎ 田中 明彦 政策研究大学院大学長

濱口 道成 国立研究開発法人科学技術振興機構 理事長

日比谷潤子 国際基督教大学長

高等教育機関における外国人留学生の
受入推進に関する有識者会議
作業部会 委員名簿

(◎：主査)

(敬称略・五十音順)

大嶋 名生 立命館アジア太平洋大学学長室課長

緒方 一夫 九州大学 副学長

小尾 晋之介 慶應義塾大学 理工学部教授

鈴木 美智子 日本学生支援機構 留学生事業部長

高嶋 清史 国際協力機構 企画部総合企画課企画役

◎日比谷 潤子 国際基督教大学長

堀田 泰司 広島大学 副理事

山本 幸史 富士通株式会社
グローバルサービスインテグレーション部門
ビジネススマネジメント本部
人材開発部長

高等教育機関における外国人留学生の 受入推進に関する有識者会議 審議経過

第1回 平成28年9月14日（水）

- ・課題の洗い出し、全体的な意見交換

第2回 平成28年9月28日（水）

- ・先進的な事例についてのヒアリング

第3回 平成28年10月21日（金）

- ・審議経過報告に向けた骨子の議論

第4回 平成28年12月2日（金）

- ・審議経過報告のまとめ

第5回 平成29年7月5日（水）

- ・有識者会議報告の取りまとめ